

## 第三者評価結果入力シート（乳児院）

種別	乳児院
----	-----

## ①第三者評価機関名

一般社団法人ぱ・まる

## ②評価調査者研修修了番号

SK18242

S2019044

1901C032

## ③施設名等

名称：	大念仏乳児院
施設長氏名：	杉田善久
定員：	25名
所在地(都道府県)：	大阪府
所在地(市町村以下)：	大阪市平野区平野上町1-7-3
T E L：	06-6791-1992
U R L：	http://www.dsw.or.jp
【施設の概要】	
開設年月日	1971/12/1
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 大念仏寺社会事業団
職員数 常勤職員：	37名
職員数 非常勤職員：	5名
有資格職員の名称（ア）	保育士
上記有資格職員の人数：	18名
有資格職員の名称（イ）	臨床心理士
上記有資格職員の人数：	2名
有資格職員の名称（ウ）	看護師
上記有資格職員の人数：	8名
有資格職員の名称（エ）	社会福祉士
上記有資格職員の人数：	2名
有資格職員の名称（オ）	栄養士
上記有資格職員の人数：	2名
有資格職員の名称（カ）	調理師
上記有資格職員の人数：	2名
施設設備の概要（ア）居室数：	6
施設設備の概要（イ）設備等：	小規模グループホーム 屋上園庭
施設設備の概要（ウ）：	
施設設備の概要（エ）：	

## ④理念・基本方針

## 【理念】

人の慈愛を基とし、慈愛的信条を中心に同一敷地内に母子生活支援施設・保育所・ベビーセンター・夜間保育園・学童保育・自立援助ホーム等を総合運営の中、後援会（大念仏寺社会事業団護持会）を組織し、一連の児童を中心とした地域社会との融和に力を注ぐことを根本理念としている。

## 【基本方針】

生涯にわたる人間形成の基盤を培う極めて重要な時期を過ごす事となる為、小規模施設の特性を生かしてできるだけ家庭に近い環境づくりに努める。

子どもたちの人間としての権利（育ちの保障・権利侵害防止）を尊重し、個々の成長に応じ心身ともに健やかにその発達を促すよう支援する。（職員との愛着関係や信頼関係を培う。）

専門的スキルを生かし、保護者と子どもの絆を深め、家族との再統合を支援している。

⑤施設の特徴的な取組

<p>(1) 育ち日記の作成</p> <p>子ども一人ひとりのつながりのある育ちを保障すると共に、子どもが自分だけのアルバムを手にする事により、自分らしさ（自尊心）を実感し自己肯定感を持って生い立ちの整理（自分語り）が出来る様、養育者が子どものよき理解者として支援する事を目標とし育ち日記を作成している。                  児童養護施設へ措置変更した児へは15才を迎える児に対し、担当職員より応援メッセージを残しています。                  育ち日記は年度末に保護者へカラーコピーしたものをお渡しし、その際アンケート記入をお願いする事で、乳児院への要望・希望を確認している。</p> <p>(2) 虐待防止マニュアル 養育（しつけ）マニュアルの検討会実施</p> <p>全職員を対象に、毎年虐待防止マニュアル・養育マニュアルの見直しが行われ、グループ別に話し合いがあり、不適切行為・誤解を受けやすい行為について新たな気づきについて話し合っている。                  普段は問題行為として自覚が無い物でも、本年度入職した新人職員からの新たな目で見てもらう事で、世間とのずれを確認し児の権利擁護を守るように努めている。</p> <p>(3) 乳児院所属心理士2名と事業団所属心理士1名による心理ケア実施</p> <p>子どもの心理フォローをしてもらう心理士が3名在籍しており、子どもの発達促進や精神的な安定を図る為に、プレイセラピーを積極的に実施している。                  面会の保護者には、お茶会のお誘いを行い、コミュニケーションに力を入れている。                  保護者対象のカウンセリングも予約制で行っている。                  職員のメンタル面のフォローや養育に対する助言、アセスメント会議等にも積極的に参加している。</p>
---

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2020/9/16	
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2021/3/27	
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成29年度	

⑦総評

<p>【特に評価が高い点】</p> <p>(1) 子どもを尊重した支援</p> <p>子どもを尊重した支援に取り組んでいるか、日々の支援の振り返りで毎日職員はチェックシートを活用し、自らの支援を振り返り、日々、意識した支援に取り組める環境作りが行われています。職員個々の価値観の違いを自覚し、支援に対する姿勢の統一性を図るため、しつけマニュアルが活用されています。しつけマニュアルと虐待マニュアルは、年1回グループ討議が行われ、全体会議で内容を確認し、振り返り、見直しが行われるなど、子どもを尊重した支援に対する姿勢を継続する仕組みが形成されています。</p> <p>(2) 子どもと密にかかわる</p> <p>大人との信頼関係確立のため、子どもと向き合い、密にかかわる支援に努められています。子どもとの関係性を重視し、職員と子どもの相性も含めて配置する、担当制が実践されています。子どもの関わりには、常に担当、副担当いずれかが関わられるように配慮されており、子どもの発達発達を見守る連続性の確保と共に、信頼関係の形成に繋がられています。</p> <p>(3) 職員の自主性を尊重した法人運営</p> <p>児童福祉複合施設であり、法人の中長期計画や質の向上、苦情対応等は、法人全体として取り組んでおり、法人内に設置された各種委員会によって、職員の意向を踏まえ、現場の課題を法人全体で共有しながら、向上に取り組み仕組みが形成されています。</p> <p>(4) 研修の拡充</p> <p>テーマを設けたスーパービジョン体制で、職員間でのスキルアップに取り組まれています。法人全体の研修委員会があり、研修内容のカリキュラムの評価と見直しが行われています。計画の策定前には、各職員の研修に関する希望や意見等の聴取が行われています。施設内研修には、外部の専門家を積極的に招致し、専門的見地からの様々な情報収集と職員のスキルアップへと繋がられています。</p> <p>(5) 多様な資源活用による環境形成</p> <p>同一法人の児童福祉複合施設である強みから、敷地内他施設との連携や施設利用等、多様な資源活用による環境作りが行われています。</p> <p>【さらなる質の向上への余地】</p> <p>(1) 記録の整理、体系化</p> <p>必要な記録は細やかに作成されていますが、計画の見直しや社会資源等との連携時に、関与する誰もがわかりやすく、伝わりやすい情報を、すぐに取り出せるような、記録の整理体系化が図られると、さらなる職員の資質の向上と、支援の質の向上に繋がるかと思われれます。</p>
--

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

第三者評価を受審するのは今回で3回目です。前回よりも細かなところまで聞き取りがあり、指摘や、より具体的な助言を頂きました。内容によっては、今すぐ改善につなげる事が難しく思われることもありましたが、職員間で話し合い近づける様、取り組みたいと思います。

子どもの記録の整理については、もう少し簡素化できないか、また、子どもの支援内容が会議で決定されれば、それに対しての成果を文面に残すことで、さらなる成長支援に繋がれるように取り組みたいと思います。

今まで取り組んできた養育に加え、今回の結果を受け、より一層子どもの最善の利益が守れるよう職員一同で精進していきたいと思えます。

⑨第三者評価結果（別紙）

## 第三者評価結果（乳児院）

### 共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

#### 1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。□	第三者 評価結果
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
法人理念は掲示され、ホームページや季刊誌などにも明記されています。入職時には細かい説明が行われ、法人の目的、事業計画、事業報告等を認識できるように取り組まれています。職員会で、理念・基本方針の読み合わせが行われています。今年度施設の基本方針の見直しが行われ、職員への周知が行われています。母親には、入所時に明記した資料を手渡すと共に、説明が行われています。母親への説明時には、文章だけでは伝わりにくい部分に対し、具体的な説明が行われています。	

#### 2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者 評価結果
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
理事会、評議会等で報告が行われ、結果は職員に共有されています。地域ニーズに応じた事例として、母子施設と乳児院が連携し、大阪市産前・産後母子支援事業の立ち上げが行われています。公認会計士による毎月の経営指導が行われており、コスト分析が行われています。	
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
毎月の公認会計士の関与で、経営に関する現状分析が行われ、課題や問題点の指摘があります。公認会計士の関与時には、各施設長も出席し、抽出された課題は、各施設にも共有されています。指摘された課題は、施設長が各施設に持ち帰り、職員間での共有が図られています。	

#### 3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果
① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
法人全体の中長期計画は、単に、理事や評議員のみで決定されるのではなく、法人内に各施設職員で構成された将来構想委員会があり、現場の課題や運営状況を踏まえながら、提言等がなされ、中長期計画に反映されています。各施設毎の中長期計画も設定されており、具体的な評価可能な計画が策定されています。中長期計画は、職員間の会議で、評価が行われています。	
② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
施設の事業計画は、中長期計画に基づき職員の意見も聴取し、それらを踏まえた上で基幹職員以上の職員が取り纏め、立案に繋がられています。事業計画は、各分野毎に、具体的に策定され、実施状況の評価が行える内容になっています。	

(2) 事業計画が適切に策定されている。	
① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
【判断した理由・特記事項等】 計画の策定前には、各職員の意向や意見を聴取されています。毎月の会議の場で、事業計画の実施状況について話し合われています。上職者による会議で、事業計画の進捗状況が話し合わせられ、評価することによって、計画や目標の変更等も行われています。	
② 7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
【判断した理由・特記事項等】 毎年4月に保護者に事業計画が配布されています。年度末に行った保護者アンケートを基に、内容に応じて事業計画へ反映される仕組みが形成されています。わかりやすく伝える工夫の取組が望まれます。	

#### 4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
① 8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
【判断した理由・特記事項等】 法人内に、各施設の職員で構成される研修委員会があり、各施設から出された課題や現状を基に、研修計画の立案や、法人としての支援の質に対する課題等が検討されています。自己評価結果は各グループで取り纏め、集計結果から得られた課題を抽出し、施設内の全体会で話し合われています。	
② 9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
【判断した理由・特記事項等】 自己評価結果集計から得られた課題は、職員間で共有され、施設内全体会で話し合われています。課題は、法人内委員会で検討されるものもあり、また、施設の次年度以降の計画に反映されるようになっています。	

## II 施設の運営管理

### 1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	第三者 評価結果
① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 職務分掌は、法人の管理規程に定められています。有事の対応は、法人全体としての任務分担が定められています。有事の際の施設長不在時の権限委任について、具体的な定めが求められます。	
② 11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 法人全体として、コンプライアンスに関する研修や、弁護士、外部講師を招いた研修等が、積極的に行われています。研修内容や情報は、幹部会で周知共有されています。研修によっては、職員直接の参加も行われています。	

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
法人全体の委員会への参加が行われています。法人研修委員会や、施設内の会議で、質の向上に対する取組が行われています。施設長は、法人内研修、外部研修において、幅広い分野において、積極的な参加がなされています。		
②		13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。
【判断した理由・特記事項等】		
法人全体として、各種委員会が設置されており、委員会の取組や検討結果は、各職員で共有されています。		

## 2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
法人全体の規程と計画で、人材確保と人事管理が行われています。職員出身校への訪問や、外部からの依頼時には、積極的に参加を促し、人材の確保、法人に興味を持ってもらえる方々の増加に繋がっています。実習生を積極的に受け入れ、施設の方針や良さをわかった上での就職に繋げる取組が行われています。加算職員を積極的に組み込み、人員体制の充実に努められています。		
②		15 総合的な人事管理が行われている。
【判断した理由・特記事項等】		
人事考課表、自己覚知確認表を基に、年2回人事考課面談が行われています。法人内の将来構想委員会によって、改善策の検討に繋がっています。各種規程類が定められています。		
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】		
年2回の人事考課時に、職員の意見や相談についても聴取し、確認されています。職員は、産業医、衛生管理士、心理士に職員が相談する事ができます。法人内の安全衛生委員会が、就業状況についての取組を行うと共に、将来構想推進委員会においても、課題や要望等が取り上げられています。法人の福利厚生として、法人全体の職員が交流できる機会を持っています。		
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
年2回の個別面談があり、人事考課表、自己覚知確認表を基に、話し合いが持たれています。人事考課表には、個人ごとの目標設定があり、取組結果を上司が評価する仕組みが確立されています。		
②		18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。
【判断した理由・特記事項等】		
法人全体の研修委員会があり、研修内容のカリキュラムの評価と見直しが行われています。計画の策定前には、各職員の研修に関する希望や意見等の聴取が行われています。施設内でも研修係が設置されており、施設内研修にも取り組まれています。		

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
ポイント制を導入した、施設内での支援スキル管理が行われています。職員個々のスキルに合わせた研修への派遣が行われています。近畿の乳児院が協働で、職種別の研修が行われており、それらにも積極的に参加されています。職員個別希望の研修においても、研修費の補助等、職員の研鑽に係る支援が行われています。法人全体として、個々の職員の知識、技術水準等の総合的な把握を行える仕組みが確立すると、さらなる支援の質の向上に繋がるかと思われます。		
(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
オリエンテーションに始まるマニュアルが整備されています。実習指導にバラツキが生じないように、実習指導者による研修や情報共有が行われています。マニュアルは、施設としての考えや方針が伝わるプログラムとなっており、福祉職としてしっかりと学びが持てるよう配慮されています。実習生からはアンケートを採り、実習方法や内容について、施設内で評価見直しが行われています。対応しうる実習を想定した、幅広い専門職毎のプログラム拡充が図られると、さらに素晴らしいと思われます。		

### 3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
ホームページによる情報公開が行われています。地域に対し季刊誌の配布が行われています。法人内の苦情処理委員会、安全衛生委員会によって、処理された内容は、ホームページ上でも公表されています。		
②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
毎月、法人に対する公認会計士による指導が行われており、各施設管理者も出席し、課題の共有や改善に結びつけられています。		

### 4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
公立保育園、里親運動会、学童保育等への行事参加を積極的に行い、地域の社会資源との交流が持たれています。法人全体として、地域活動、地域活動の場として提供などが行われており、積極的な地域貢献に取り組まれています。		
②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
ボランティアに関する規程やマニュアルが整備されています。マニュアルには、留意事項や施設の考えなども示されています。		
(2) 関係機関との連携が確保されている。		
①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
【判断した理由・特記事項等】		
必要と思われる社会資源はリスト化されています。地域や地区での関係機関・団体等のネットワーク化等に関する取組推進が望まれます。		

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
① 26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】 法人から、区の連絡会や協議会に参加し、地域ニーズや課題の把握に努められています。	
② 27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】 地域ニーズに基づいて、放課後児童健全育成事業、大阪市産前・産後母子支援事業への取組などが確認できました。法人内で地域参加型防犯研修会が開催されています。地域の福祉避難所としての指定を受けています。地域のつどいの場として、様々な教室の開催等、施設の持つ機能を活かした、地域貢献が行われています。	

### Ⅲ 適切な養育・支援の実施

#### 1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。	第三者 評価結果
① 28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 子どもたちの自主性を尊重し、欲求に応えられるよう、日常の支援に取り組まれています。日常生活の常識については、職員個々でのバラツキが発生しないよう、施設内での共通認識のマニュアルを作成されています。褒めることで、子どもたち自身に自信を持たせる支援の提供が行われています。日々退勤時に倫理要領の項目に沿った振り返りを行い、記録し、それを月単位で上職者が評価し、助言、指導が行われています。研修計画、研修実施はポイント制を導入されており、職員個人単位での研修管理が行われています。日常生活の常識についての共通マニュアルは、毎年職員全体で定期的に評価見直しが行われており、古い常識を子どもに押しつけることがないように、一般社会の常識を踏まえた上で、検討され、マニュアル等の改定に反映されています。	
② 29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】 プライバシーに対し、他児のプライバシーを侵害することがいけないことであると、場面場面で子どもたちに伝え、子どもたちへプライバシーに対する意識付けが行われています。大切なことを侵害してはならないという意識を子どもたちが持てるように、配慮した支援の提供が行われています。オムツ交換やトイレ利用は、子どもの安全とプライバシーの両立に配慮した支援の提供に努められています。	
(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	
① 30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
【判断した理由・特記事項等】 入所にあたっては、施設のパンフレット、入所のしおりを利用し、保護者がわかりやすい説明を心がけられています。しおりには、絵を使ったり、文章にはふりがなをうつなど、伝わりにくい保護者の方への理解の促進に努められています。	
② 31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	a
【判断した理由・特記事項等】 毎月の子どもの様子の記録が作成されています。お便りカードを作成し、保護者への情報提供が行われています。保護者面会時には、必ず説明できる職員が同行し、子どもについての発達や発育の状況、近況等が保護者に説明されています。リハビリなど、保護者意向がある場合は、尊重した支援計画の反映に努められています。意思決定が困難な保護者等へのケースはこども相談センターと協働で、適切な計画策定に努められています。	



<p>③ 32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。</p>	<p>a</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】 引き継ぎ先への文書書式は、大阪市内乳児院統一様式で作成され、措置変更施設へ提供されています。保護者にも、統一様式に準じた施設作成の細やかな情報提供が行われています。保護者には、退所時利用終了後の相談先等も明示された文書が配布されています。家庭復帰された場合は、1ヶ月後に家庭訪問を行い、退所後の支援を行うと共に、相談の機会としても捉えられて活用されています。さらに、継続した支援が必要と思われる子どもには、退所後1年程度まで、地域や施設も活用した支援に努められています。施設主催のお茶会があり、退所後の保護者等も参加され、相談の機会として心理士の活用等が図られています。</p>	
<p>(3) 子どもの満足の向上に努めている。</p>	
<p>① 33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。</p>	<p>a</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】 毎年一回、保護者アンケートが実施され、職員間でアンケート結果について検討し、支援へ反映されるよう努められています。面会時には、保護者に寄り添い、子どもの様子を伝えると共に、保護者からの意向等聴取が図られています。少人数や担当毎の外出や支援を通し、子どもたちの満足を高める支援が提供出来るよう努められています。保護者意見や子どもの満足度向上については、毎月の会議の中で定期的に取り組みられています。</p>	
<p>(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>	
<p>① 34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</p>	<p>a</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】 法人全体として設置されている、苦情処理委員会があり、毎月の委員会では、改善策や内容の検討が行われています。委員会の結果は、当該保護者にフィードバックされており、概要は施設で掲示されています。</p>	
<p>② 35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。</p>	<p>a</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】 相談先等は文書に明示されており、利用開始時に配布されています。施設入り口等にも複数の相談先等が明示され、掲示されています。相談スペースは、法人施設全体としての部屋も複数あり、状況に応じたスペースの確保が図られています。</p>	
<p>③ 36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。</p>	<p>b</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】 面談時に、相談しやすいよう、子どもの様子などを話しながら、保護者の意見や相談を聴取できるよう努められています。面談時に聴取した意見や相談は、面談記録に記録され、職員会議等で検討し、必要な対応に繋がられています。保護者からの意見を基に、内容の拡充等に繋がった事例が確認できました。集められた意見や相談等は、毎月担当者が概要記録として整理し、活用しやすい取組がなされています。意見、相談等の取扱は、丁寧に行われ、必要に応じた見直しや工夫が行われています。対応マニュアル、様式や取扱等を、定期的に見直す仕組みの形成が行われると、さらなる支援の質の向上に繋がるかと思われま。</p>	
<p>(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。</p>	
<p>① 37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。</p>	<p>a</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】 ヒヤリハット事例が蓄積され、検討内容は過去のものも含め職員間での共有が図られています。事故発生時の対応や安全対策のマニュアルが作成されています。救命講習などにも取り組まれています。</p>	
<p>② 38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</p>	<p>a</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】 感染症対策の責任者が設置されており、各種感染症の予防・対応マニュアルが整備されています。感染症に対する研修も定期的実施されています。予防に関しては、清掃時等の使用薬剤等が明示され、日常から正しい対応が可能な仕組みが形成されています。</p>	

	③ 39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
法人全体で、サポート委員、防災委員が定められており、計画的な訓練が行われています。夜間訓練や火災以外の災害を想定した訓練も実施されています。備蓄品は3日分用意されており、備蓄品リストに基づいて毎月点検されています。災害時の「事業継続計画」の整理拡充が望まれます。		

## 2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
	① 40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	b
【判断した理由・特記事項等】		
各種マニュアルが整備されています。マニュアルの各項目には、プライバシー配慮に関わる記述や配慮が確認できました。毎年、職員が自己評価を行うことによって、マニュアルの内容も見つめ直す機会となっており、職員が支援の質と、マニュアルについての振り返りが行われています。		
	② 41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
マニュアルは基幹職員が毎年内容を見直しており、現場の実際に即した内容の訂正や修正が、行える体制となっています。自立支援計画の実行にあたり、支援内容の広がりや、業務全体への影響から、職員からの意見も踏まえた上で、外部資源の活用における運用形態の見直しを行った事例が確認できました。		
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
	① 42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
施設独自の書式で、対象児に対する評価が行われ、課題の抽出から次回計画の立案に繋がられています。支援が困難と思われる事例でも、積極的に取り組む姿勢があり、職員全体で受け止められています。計画の策定にあたっては、心理士を含めた複数体制で検討され、立案されています。		
	② 43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b
【判断した理由・特記事項等】		
自立支援計画の課題は職員全体で共有され、策定された自立支援計画は回覧確認されています。自立支援計画の中で共通の課題等を抽出し、必要に応じて標準的な実施方法に反映すべき事項や、養育・支援の向上に関わる課題の発掘等を、拡充していくことで、さらなる支援の質の向上に繋がるかと思われます。		
(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。		
	① 44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
【判断した理由・特記事項等】		
会議録や計画に対する変更等は、ミーティングで共有され、回覧することで、全体での情報共有が漏れないように取り組まれています。		
	② 45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
【判断した理由・特記事項等】		
施設の性質上、施設外への個人情報取扱については、十分留意され、外部講師による勉強会、研修等も行われています。年一回、弁護士による研修が行われ、プライバシーやコンプライアンスに対する取り組み姿勢や留意点が、職員に周知されています。改正された個人情報保護法に沿った諸規定、記録等の拡充が望まれます。		

□

内容評価基準（23項目）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護	第三者 評価結果
① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
子どもの権利擁護については、倫理要領でも厳格に定められており、職員は日々振り返りを行っています。振り返り内容は、定期的にも上職者が評価し、必要に応じた指導を行うことで、権利擁護に関する意識の維持がなされています。	
(2) 被措置児童等虐待の防止等	
① A2 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
【判断した理由・特記事項等】	
職員が日々行う、倫理要領の振り返りの中で、自己チェックすると共に、上職者による定期的な評価・指導によって、防止効果に繋がっています。法人内の権利擁護委員会等が、不適切な関わり発生時に対応する機関としての役割を担います。不適切な関わりがあった場合の、より明瞭な対応方法等の明文化が望まれます。	

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本	第三者 評価結果
① A3 子どものこころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育てている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
担当・副担当制をとっており、固定された職員が子どもに関わり続ける体制になっています。担当、副担当は、必ずどちらかが接することが出来るよう配慮されており、信頼関係の構築に配慮されています。病院受診時、外泊時、散歩時等は、担当職員が接する事で、個別の関わりを持つことが出来る時間が確保されています。被虐待経験のある乳幼児には、個々の状況や心理状態にあわせた距離感や接し方を見だし、そこからの信頼関係の確立に向けた支援に取り組まれています。	
② A4 子どもの生活体験に配慮し、豊かな生活を保障している。	a
【判断した理由・特記事項等】	
近隣への散歩や、法人施設内にある畑を活用し植物や自然に触れる機会が確保されています。施設内では、可能な限りの分散保育が行われており、子どもの発達状況や発育状況にあわせた、支援の提供が行われています。	
③ A5 子どもの発達を支援する環境を整えている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
子どもの発達状況については、細かく記録され、状況に応じた養育に努められています。リハビリテーションが必要な子どもの支援は、画像等を共有することによって、職員皆が支援に対するアプローチ、方法等を共有出来る仕組みが形成されています。担当制によって、子ども個々に向き合う支援の提供が行われています。	
(2) 食生活	
① A6 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
子ども個々の発育や体調、様子などによって、適切な量、時間間隔、による授乳が行われています。言葉かけや表情などに留意し、安心した環境下での授乳を受けることが出来るよう努められています。	
② A7 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
咀嚼力を養うため、スティック状の柔らかい食材を主体に、離乳食を進められています。初めての食材には、アレルギー発生等のリスクを考慮し、医療機関対応可能な時間帯を選ぶなどの配慮が為されています。離乳食の進め方は、担当者と栄養士、調理員が協働で取り組まれています。栄養士や調理員が食事介助に直接関与することで、個々の子どもに適切な提供ができるよう努められています。	

<p>③ A8 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。</p>	<p>a</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】 法人敷地内の畑で野菜を育成し、自分たちで育てた野菜を摂取する事によって、育てる楽しみと共に食べる楽しみへと繋がられています。調理過程の一部を子どもと共有することで、作る楽しさに触れる機会を設けられています。嗜好や食べ方など、個々の子どもの特徴的な部分は、共有出来る記録が作成され、各職員が共有することで、楽しい食事の提供に努められています。栄養士、調理員が、直接食事介助に入る事によって、子どもに適した調理を行った食事の提供が行われています。食べきれぬ量の提供や、おかわりの嬉しさ、お手伝いの喜び等が養われる支援が提供されています。</p>	
<p>④ A9 栄養管理に十分な注意を払っている。</p>	<p>a</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】 法人敷地内の畑で野菜を育成し、自分たちで育てた野菜を摂取する事によって、育てる楽しみと共に食べる楽しみへと繋がられています。調理過程の一部を子どもと共有することで、作る楽しさに触れる機会を設けられています。配膳の一部を手伝ってもらうことによって、お手伝いの喜び等が養われる支援が提供されています。</p>	
<p>(3) 日常生活等の支援</p>	
<p>① A10 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。</p>	<p>a</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】 子ども自身が着脱しやすい衣類を用意しています。個人別に収納することによって個別化が子ども自身もわかるように取り組まれています。</p>	
<p>② A11 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。</p>	<p>a</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】 活動時間帯、就寝時間帯に応じた設定温度が定められ、温度管理が行われています。子ども個々の睡眠状況や特性に応じて、就寝場所の工夫や配慮、職員の関与が行われています。</p>	
<p>③ A12 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。</p>	<p>a</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】 子どもの発達状況にあわせた、浴室や設備の選択が行われています。長時間の入浴にならない程度で、入浴が楽しくなる工夫が行われています。</p>	
<p>④ A13 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。</p>	<p>a</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】 子どもの自主性や自発性を尊重し、排泄自立に向けたタイミングを活かせるように努められています。成功した場合は、担当者が褒めることで、子どもに自信と嬉しさを提供し、排泄自立の推進に繋がられています。トレーニングパンツの導入で、他児に影響が出ない環境を整え、自発的な排泄に繋がれるよう努められています。</p>	
<p>⑤ A14 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。</p>	<p>a</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】 共有玩具と個人玩具が用意されており、状況に応じた選択が行われています。同一法人他施設との併設施設であるため、様々な遊具や遊び場所を活用することができ、天候や目的などに応じて多彩な遊びの提供に努められており、五感を育む遊びの提供が行われています。個人玩具は個々のロッカー内に配置されています。</p>	

(4) 健康	
① A15 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a
【判断した理由・特記事項等】	
子ども毎の、健康台帳と医療日誌が作成されています。健康係を配置し、予防接種を含め、子ども毎の定期管理がなされています。精神や運動発達、発達障害等に係る不安や疑いがある場合は、嘱託医の紹介状によって、専門医療機関への受診に繋がられています。	
② A16 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	
【判断した理由・特記事項等】	
対象児については、個別の医療日誌があり、医療情報の個別管理が行われています。伝える事、共有すること、医療機関からの指示なども記録され、共有されています。日々、看護師も配置されており、服薬管理や健康状態の確認などが行われています。特に配慮が必要な子どもについては、入所時より当該医療機関経由で入所することが基本であるため、継続した医療的な連携が図られています。計画の策定には、主治医の意見等を基に、こども相談センターとも連携し、対象児の状況に合わせた計画の策定が行われています。	
(5) 心理的ケア	
① A17 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
心理的支援を必要とする子どもには、専門医療機関での対応や直接的支援が行われています。対象児に対する支援方法は、職員間で共有され、適切な支援の提供が行われるよう努められています。保護者には、心理士主催のお茶会への参加を働きかけ、心理士による相談対応等の支援が、退所後の保護者に対しても行われています。	
(6) 親子関係の再構築支援等	
① A18 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
【判断した理由・特記事項等】	
施設行事への参加や、施設内での食事提供、入浴実施等、子どもと触れあう機会や内容を拡充していくことで、親子関係の形成に努められています。心理士によるお茶会への参加時に積極的な相談に応じており、保護者カウンセリングの場として活用されています。	
② A19 親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。	
【判断した理由・特記事項等】	
親子関係の再構築は、地域協働による見守りやバックアップ体制も含め、地域ぐるみでの支援、家庭復帰後も家庭訪問を行ったり、相談に応じるなど、施設側からの支援継続に取り組まれています。復帰時には外泊しながらの経過観察が行われています。	
(7) 養育・支援の継続性とアフターケア	
① A20 退所後、子どもが安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】	
退所後の施設や社会資源には適切な情報提供を行い、家庭復帰の場合によっては連携して子どもの安定的な生活の形成に努められています。心理士が退所後でも相談に乗れる機会の提供を行い、支援窓口として継続されています。訪問や地域社会資源との協働は、必要に応じ1年を目処に継続されています。	
(8) 継続的な里親支援の体制整備	
① A21 継続的な里親支援の体制を整備している。	a
【判断した理由・特記事項等】	
里親認定前実習や、里親実習を提供されています。里親希望者には、手続上の案内や相談に対応するなど丁寧な支援を心がけられています。	

(9) 一時保護委託への対応	
① A22 一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 一時保護の受入時は、児童相談所からの初期情報を基に、受入から3日間の様子から施設アセスメントが作成され、1ヶ月を目処にアセスメント会議が実施されています。アレルギー情報が不明の場合、除去食で対応されています。	
② A23 緊急一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 緊急一時保護については、24時間対応でこども相談センターからの照会、依頼に対応されています。受入から3日間の様子を基に施設アセスメントが行われています。	